

園長室だより

令和元年度 第9号 (1月31日発行) 大阪市立立葉幼稚園長 岡林 朗子

1月に入り、寒さのいよいよ本格的になってきました。インフルエンザの学級休業もありましたが、今は生活発表会に向けて子どもたちも元気に表現遊びや楽器遊びをしています。冬ならではの遊びが各クラスで広がっていますが、先生たちがねらって子どもたちに経験してほしいことも織り交ぜながら、様々な遊びが展開されています。



まず始業式…。

先生たちが、はねつきの披露をしました。羽根つきの羽根につかっている黒い種は、“無患子”という落葉高木です。その種を羽根つきのたまにしています。

“無患子”

子どもが患うことのないように…という願いを込めて昔からの伝承遊びを幼稚園でも続けています。

子どもたちもピロティーで遊んでいました



こまわし

もも組は手回しコマ、ばら組、ゆり組は紐コマで遊んでいます。週末は持って帰って家で回している子どもたち。手先の力の加減、手首のしなやかさなどなど、とても大切な要素も入っている遊びです。

そして、コマを回す木のプレートは白石さんの手作りです！先生たちが、量販店でコンパネを購入し、白石さんにお願ひしました。すると、すぐに作ってくれました。コマが飛び出さないように、縁に角材もつけてくれて、コマ回し場の完成！

ジャガイモ植え

「ジャガイモの赤ちゃんを植えよう！」とクラスで話をして大切に土に植えていました。6月の収穫は、ばら組ともも組が中心になるので、2クラスで植えました。

両手で優しく優しく、ジャガイモの種イモをもっているかわいい、ばら組と、もも組でした！

6月が楽しみです…。



劇遊び

大道具も小道具も全部子どもたちと先生の手作りです。そして脚本も…。保護者は意外とご存じないですが、先生たちは、子どもたちから出た動きや言葉を使って自分たちで脚本を作ります。

30日が予行でしたが、とっても楽しい素敵な子どもたちの姿でした！ご期待ください！

大阪府立難波支援学校での太鼓演奏

“怒”のダイナミックな演奏を今回も聴くことができました！子どもたちはリズムを身体で感じ、たたく真似をしながら楽しんでいました。園に帰って第1保育所から、お借りしている太鼓を早速たたいていました！

